



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2020/11/19

| | |
|----------------|---|
| 研究課題名 | 乳癌術前化学療法の効果および長期成績からみた臨床的効果予測因子の研究 |
| 研究の対象 | 2006年4月～2021年3月までに田附興風会医学研究所北野病院乳腺外科で術前化学療法を実施した症例 |
| 研究目的・方法 | <p>術前化学療法(NAC)の意義のひとつに“治療効果を病理組織学的に判定することは、効果の確認と予後予測に有用である”ことがあります。またトリプルネガティブ乳癌(TNBC)やHER2陽性乳癌患者においてはNACでpCR(病理学的完全奏功)を得られた場合、non-pCR例と比べ、無再発生存および全生存が良好となることが示されています。</p> <p>NACの効果は「やってみなければわからない」のが現状です。事前にその抗癌剤がどのくらい患者個別に効果があるのか予測することができれば、必要以上の治療を回避することが可能となります。</p> <p>当科では2006年4月の開設早期から再発リスク因子のある乳癌に対して積極的にNACを導入し、累計約400例となっています。これらのNAC症例における安全性やpCR率および術後の長期成績を後方視的に検討し、各サブタイプ毎に傾向をまとめる研究です。</p> <p>方法：患者診療録（カルテ）データを使用します。</p> <p>研究期間：許可日～2021年5月</p> |
| 研究に用いる試料・情報の種類 | 情報：病歴、治療期間中の画像データ、検査データ、副作用の有無、再発の有無など 試料：カルテ記録のみ |
| お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 乳腺外科 高原 祥子</p> <p>研究責任者： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 乳腺外科 主任部長 高原 祥子</p> |